
看護方法論Ⅰ（生活援助）

坂本 由希子 准教授

岩根 直美 准教授

野々口 陽子 助教

米島 望 助教

1 年次後期・必修

1 単位・30 時間

【概要・目的】

本科目は、あらゆる健康レベルにある人々の生活過程を理解し、人々が安全で安楽な生活を行うための基礎的な援助技術を習得する。看護技術の習得は人間への尊厳を土台として、手順や方法だけでなく専門的な知識をふまえて、状況を判断する能力が必要であり、根拠に基づいた実践が行えるように学習する。

【到達目標】

- 1) ボディメカニクスや体位変換および移動について学び、それらを整える技術を習得する。
 - 2) 休息や睡眠、また運動や活動について学び、それらを整える技術を習得する。
 - 3) 身体の清潔について学び、それらを整える技術を習得する。
 - 4) 栄養と食事について学び、それらを整える技術を習得する。
 - 5) 排泄について学び、それらを整える技術を習得する。
-

【内容・スケジュール】

- 1) ガイダンスおよび人々の生活過程の特徴
 - 2) ～4) 安楽確保および活動と休息に関する援助技術
 - 5) ～8) 衣生活と清潔に関する援助技術
 - 9) ～11) 栄養と食生活に関する援助技術
 - 12) ～13) 排泄に関する援助技術
 - 14) 日常生活のアセスメント
 - 15) まとめ
-

【評価】

筆記試験（70%）、技術試験（20%）、レポート・出席や演習などの学習態度（10%）

【教科書】

- 1) 深井喜代子編集：新体系看護学全書 基礎看護学② 「基礎看護技術Ⅰ」第6版 メヂカルフレンド社
 - 2) 深井喜代子編集：新体系看護学全書 基礎看護学③ 「基礎看護技術Ⅱ」第5版 メヂカルフレンド社
 - 3) 医療情報科学研究所編集：看護がみえる vol.1 基礎看護技術 メディックメディア
 - 4) 医療情報科学研究所編集：看護がみえる vol.2 臨床看護技術 メディックメディア
-

【推薦参考図書】

随時紹介する。

【その他】学習サポート：実習室において自己学習と技術指導を受けることができます。（曜日などの詳細は別途）